

平成22年6月1日

来園者の皆さまへ

市民の皆さまへ

動物園の口蹄疫対策にご協力をお願い

宮崎県で発生しております口蹄疫は、主に牛や豚などの偶蹄目の動物に感染する病気です。動物園では偶蹄目の動物を飼育していますが、現在、園外から持ち込まれる可能性がある口蹄疫ウィルスから動物を守るために、感染区域に近い動物園など、多くの動物園では次のような対策をとっています。

- 1 来園者の皆さまが入園する際の消毒マットによる靴底の消毒
- 1 動物との触れ合い前後の手指の洗浄または消毒
- 1 動物との触れ合い事業の中止や触れ合いの防止 など

なお、口蹄疫は、高病原性鳥インフルエンザのように動物から人に感染することはありません。万が一、動物園の動物が感染したとしても、来園者の皆さまに展示動物から感染することはありません。

国内における口蹄疫の感染が終息するまで、ご面倒とは思いますが、多くの動物園が実施しているこれらの対策にご理解とご協力をお願いいたします。

社団法人日本動物園水族館協会
会長 山本 茂 行